

竹の子だより

第8号 平成24年4月28日(土)発行

発行責任者 坂井 正志

編集 明星会広報委員会

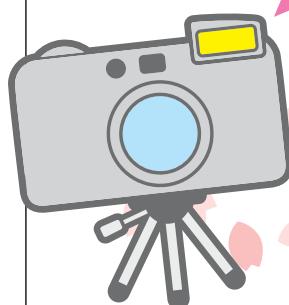
発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP http://www.kanagawa-id.org/takenoko/

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



今年もたくさんのかわいい
思い出を残せますように....。



**理事長
安藤 進**

社会福祉法人を取巻く環境は、この数年大きく変動しています。支援費制度から障害者自立支援法へと移行し、今国会に提出された障害者総合支援法（仮）の方向で制度が動いています。

障害者総合支援法（仮）の改正になりましたが、法人の姿勢は、利用者への支援サービス向上に努めることもとより、利用者が地域に出て日常生活や社会生活を安心して安全に過ごせるよう取組んでまいります。

法人の基本理念「常に利用者の目線に立ち、利用者が安心して安全に過ごせる事業を行います」に沿った事業展開をするには、職員の教育を通じて人権等の意識付けはもちろんのこと利用者に対し、「目配り」（利用者の毎日の体調変化や行動の変化に注意を払い、利用者が言葉で表せない訴えや要望に対応する支援）。「気配り」（利用者が安心して安全に生活できるとともに健やかな日常生活が送れる支援）。「心配り」（生きる喜びと安心感を与えてくれます）。

社会福祉法人を取巻く環境は、この数年大きく変動しています。支援費制度から障害者自立支援法へと移行し、今国会に提出された障害者総合支援法（仮）の方向で制度が動いています。

これらの障害者支援は、利用者が住み慣れた地域に出て、地域の皆さんと一緒に日常生活が送るような方向に進んでいます。当法人も一人でも多くの利用者が地域に出て生活できるようグループホーム事業の拡大に努めてまいります。

利用者が自立して自分らしく生き生きと安心し、安全に生活するには、地域の皆さんのご理解とご協力が最も大切なことだと思っています。困っている利用者を見かけたらやさしく声を掛けてください。皆さまの優しく、温かい心が利用者に勇気を与えるとともにこの地域の一員として生活できることを、保護者が楽しく、幸せに生活できる支援）を常に持つことが大切だと思います。言い換えれば、相手の立場になつて物事を考え、計画して行動することです。利用者から笑顔がこぼれ、樂しかったよと言われるような支援が大切だと考えています。

昨年度は、いろいろなことがあります。物事を考え、計画して行動することです。利用者から笑顔がこぼれ、樂しかったよと言われるような支援が大切だと考えています。

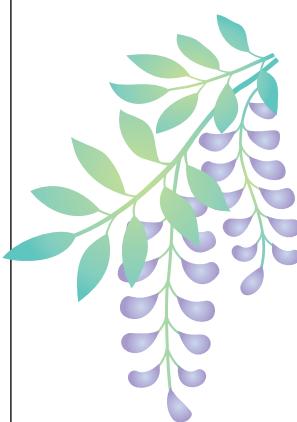
これまで、考えた一年でした。日頃からストレス解消法として「考えないこと」と言っていますが、世の中、そううまくはいかないようです。様々な人生論、生き方、考え方の啓発本が出ていますが、ほとんどが気の持ちようでどうにでもなるという内容だと思います。ポジティブ思考かネガティブ思考かで、人生が大きく変わってくるでしょう。大震災で被災された方々の「もつとひどい人がいるから」「命があるだけましだ」我慢強い言葉に心を打たれます。私たちの仕事に目を向けると、まさにポジティブ思考が求められます。私は、自分で「考えない」と言つてゐるくせに、職員へは「常に頭を使つて仕事をするように」と言つています。ただ漠然と流されていくので

新年度の あいさつ



**施設長
坂井 正志**

はなくして支援に行き詰った時こそが、まさにチャンスなのです。高杉晋作のうたに、「面白きこともなき世を面白く、住みなすものは心なりけり」と言う句があります。面白くない世の中を自分は頑張って面白くしてきた。という解釈もありますが、心がけしで面白くなるといった解釈が合っていると思います。今年も職員の入れ替えがありましたが、社会福祉法人明星会の基本理念を第一に考え、心がけを正しく持ち、早く竹の子学園に慣れて欲しいと思います。搖れ動く制度のおかげでまだまだ悩みは尽きませんが、同じ悩むなら、利用者の為に悩みたいものですね。利用者の為に悩みたいものですね。「どうせ言つても無駄だから。」と言う利用者もいますが、そういうことを言われるようでは、失格です。これからも利用者の幸せの為に大いに悩んでいきたいと思います。





竹の子だより

会に行つて来ました。保育を学ぶ学生さん達の前で、スライドを交えながら社会福祉法人明星会の話をしてきました。「私達と同じように仕事をしたり笑つたりと、実習に向かう元気が出ました」と多くの感想を頂きました。人に伝える事、知つてもらう事の大切さを改めて実感した一日でした。これからも『人と関わる仕事は楽しいよ!』そんな気持ちが伝えられればと思います。三月十一日の東日本大震災から一年、絆や防災を強く意識した一年でもあります。これからも地域の中での「社会福祉法人明星会」のあり方が益々問われてくる一年になると思います。ご協力よろしくお願い致します。

この度、非常勤職員の朝倉美奈さんが3月で退職されました。お疲れさまでした。

また、六カ所目のグループホーム「ケアホームとなる「マルシェーポク」が小田原市穴部駅前に開所し、竹の子ホームご利用の方が三十二名になりました。引き続き「本人が望む生活を支援する」「豊かな生活を提供する」と共に歩んでいきたいと思います。

一月中旬関東学院大学の実習講習会に行つて来ました。保育を学ぶ学生さん達の前で、スライドを交えながら社会福祉法人明星会の話をしてきました。「私達と同じように仕事をしたり笑つたりと、実習に向かう元気が出ました」と多くの感想を頂きました。人に伝える事、知つてもらう事の大切さを改めて実感した一日でした。これからも『人と関わる仕事は楽しいよ!』そんな気持ちが伝えられればと思います。三月十一日の東日本大震災から一年、絆や防災を強く意識した一年でもあります。これからも地域の中での「社会福祉法人明星会」のあり方が益々問われてくる一年になると思います。ご協力よろしくお願い致します。



生活支援課長
小島 彰則



地域支援課長
露木 とー

この四月からの法改正に伴い、相談支援体制が充実されました。

相談支援センター・エールでは、①特定相談支援事業（サービス等利用計画作成）・障害児相談支援事業（障害児利用支援計画作成）②一般相談支援事業（地域移行・定着支援）を行います。

また、法人内の各事業所（竹の子学園・短期入所・日中一時・パン工房ハッピー・竹の子ケアセンター・竹の子ホーム・相談支援センター・エール）に相談支援専門員研修を修了した「相談支援専門員」を配置しております。専門職による身近な場所での相談支援を目指しておりますので、是非ご活用ください。

また、六カ所目のグループホーム・

趣味：吹奏楽、バスケットボール、水泳
性格：のんびりでマイペース
一言：どんくさい私ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

1・2寮 生活支援員
甲斐 美咲
(1・2寮配属)

趣味：吹奏楽、バスケットボール、水泳
性格：のんびりでマイペース
一言：どんくさい私ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

1・2寮 生活支援員
石飛 信彦
(1・2寮配属)

趣味：アクアリウム、サブカルチャー探求
性格：実直
一言：職歴は長いですが、竹の子学園では新人です。初心を忘れず、利用者のよき良い生活の為に尽力したいと思います。

1・2寮 生活支援員
綿貫 純

趣味：登山、読書
性格：明るく元気！
一言：細かいことから一つ一つしっかり覚えて、これから頑張っていきます !!

新規人職員紹介

その他、グループホーム世話人として谷美津子さん、非常勤職員として竹の子学園に中村豊美さん、パン工房ハッピーに阿部久子さんが新しく加わりました。

退職職員紹介

この度、非常勤職員の朝倉美奈さんが3月で退職されました。お疲れさまでした。

3・4寮 生活支援員
佐藤 かなえ
(3・4寮配属)

趣味：ツーリング、ドライブ、バスケット
性格：元気で明るくにぎやか！でも少し負けず嫌いです。
一言：自分なりに楽しく皆様と関わりを持ちたいです！



3・4寮 生活支援員
寺嶋 真保
(3・4寮配属)

趣味：旅行、ドライブ、写真撮影、食べること
性格：周りからはおっとりしていると言われます。不器用です。
一言：皆さん、これからよろしくお願いします。
竹の子学園の良い所をたくさん教えて下さい。



明星会 平成24年度新体制

社会福祉法人明星会 【理事長】 安藤 進



● 障害者支援施設 竹の子学園 【生活介護・施設入所支援】

【施設長（管理者）】	坂井 正志	【1・2寮 寮長】	大橋 辰紀
【事務長】	磯崎 敦子	【3・4寮 寮長】	内海 直美
【サービス管理責任者】	小島 彰則	【看護師】	安岡 朋子
【短期入所事業窓口】	佐藤 良美	【管理栄養士】	藤澤 智子

● 竹の子ケアセンター 【生活介護・自立訓練】

【管理者】	坂井 正志
【サービス管理責任者】	細野真理子

● パン工房ハッピー 【就労継続支援B型】

【管理者】	坂井 正志
【サービス管理責任者】	安藤 智美

● 竹の子ホーム 【共同生活援助・共同生活介護】

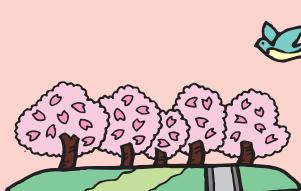
【管理者】	坂井 正志
【サービス管理責任者】	佐藤 光夫 清田 聰

● 相談支援センターエール

【管理者】	坂井 正志
【相談支援専門員】	露木 とし

● 苦情解決

【苦情解決責任者】	坂井 正志
【苦情受付担当者】	小島 彰則



評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	幹事	幹事	理事	理事	理事
松岡 実	小林 俊夫	北邨 賢雄	小澤 治枝	石塚 達義	中野 五雄	村野 慶	坂井 正志	佐々木 幸時	坂井 正志	佐々木 幸時	和田 信男	大内 忠行

明星会 役員



平成二十四年三月

理事会報告

竹の子だより
常に利用者の目線に立ち利用者が安心して安全に過ごせる事業を行います。

基本理念

「竹の子ケアセンター」独自の日中活動・余暇活動を充実させ、個々の利用者にあつた総合的な支援を提供していきます。

- (二) 通所事業において、営業日及び送迎車を増やすことで、より多くの方にサービスを利用していくだけるようにします。また、「竹の子ケアセンター」独自の日中活動・余暇活動を充実させ、個々の利用者にあつた総合的な支援を提供していきます。
- (三) より多くの方に就労支援サービスを利用していただけるよう、従来のパン製造を発展させながら、新たな生産活動についても検討していきます。

運営方針

社会福祉法人明星会は、国の障害福祉に対する基本理念である「法に基づく日常生活、社会生活の支援が、可能な限り身近な場所において受けられること、共生社会を実現すること、社会的障壁を除去すること」と合わせ、法人の基本理念・基本方針に基づき、障害福祉施策における法律の改正に対し、柔軟に対応できるよう、将来を見据えた運営をしてまいります。

(一) 施設入所利用者を含めた出

来るだけ多くの方が、地域での安心・安全な生活を実現できるよう、事業を開拓してまいります。

- (二) 通所事業において、営業日及び送迎車を増やすことで、より多くの方にサービスを利用していくだけないようにします。また、「竹の子ケアセンター」独自の日中活動・余暇活動を充実させ、個々の利用者にあつた総合的な支援を提供していきます。

平成二十四年三月二十七日、竹の子学園ヴィーホール一階において、エールの運営規程を変更します。
【平成二十三年度 第二回評議員会】及び【平成二十三年度 第四回理事会】が、開催されました。午後一時三十分より評議委員会において以下の議題について審議しました。

議題第四号

平成二十三年度 補正予算について

「竹の子学園」「パン工房ハッピー」「竹の子ホーム」の予算について、補正します。

議題第一号

議題題

作業棟について

平成二十三年三月に完成しました

作業棟について、基本財産に計上する旨及び、建築資金として独立行政法人福祉医療機構より借入条件につきまして、了解を得ました。

議題第二号

定款変更について

①第二章 役員及び職員の第七条について、「社会福祉法人定款準則」に準拠するよう訂正する。

②基本財産に作業棟を加える。

議題第五号

平成二十四年度 事業計画について

社会福祉法人明星会の運営方針に従い、事業を行つてまいります。

議題第六号

平成二十四年度 予算について

事業計画に基づき、車輌購入、設備整備を行える予算編成としました。

議題第三号

諸規程の変更について

引き続き午後三時三十分より、理事会が開催されました。

評議員会で出されました意見を踏まえ、すべての議案について、承認されました。

- (一) 「竹の子学園 防災計画」について、火元責任者等、実態に合わせて、人材育成に力を入れていきます。
- (二) 施設入所利用者を含めた出来るだけ多くの方が、地域での安心・安全な生活を実現できるよう、事業を開拓してまいります。
- (三) より多くの方に就労支援サービスを利用していただけるよう、従来のパン製造を発展させながら、新たな生産活動についても検討していきます。
- (四) 「竹の子学園」利用者による公園の美化活動、「パン工房ハッピー」での販売活動及び「竹の子ホーム」利用者の地域活動へ参画すること、共生社会を実現すること、社会的障壁を除去すること」と合わせ、法人の基本理念・基本方針に基づき、障害福祉施策における法律の改正に対し、柔軟に対応できるよう、将来を見据えた運営をしてまいります。
- (五) 「相談支援センターエール」を中心、行政、福祉事務所及び他の福祉事業所等と連携し、地域福祉の専門的な役割を担つてまいります。また、職員の資格取得を奨励し、職員研修を充実させて、人材育成に力を入れていきます。

「メルシー・ボク」 オーブン



平成二十四年四月一日に竹の子ホーム「メルシーボク」が開所となりました。場所は大雄山線穴部駅近くとなり、名称の「メルシーボク」(フランス語)には「とってもありがとう」という意味があるそうです。

現在、男性五名の利用者が生活されています。その一人ひとりに合った暮らしを送るよう、世話人や生活支援員とで支えていければと思っています。また、地域の行事・美化清掃・防災訓練などにも積極的に参加していく、みなさんから愛されるようなホーム作りを進めていければと感じています。

たくさんの「ありがとうございます」を励みにし、今後のホーム運営に努めています。

近くにお立ち寄りの際は、どうぞお越しください。

(清田)



「スキルアップ＆ネットワーク」研修

全四回に亘る二十三年度の研修が終了致しました。二十三年度はグループワーク方式を多く取り入れ、和やかな雰囲気での研修となりました。

講師の方々、受講された方々ありがとうございました。今年度もよろしくお願い致します。(清田)

第五回 ちいき・ふくし博

デザイン画コンクールで羽石光代さんのかわいい絵がしおり部門スマイル賞を受賞されました。

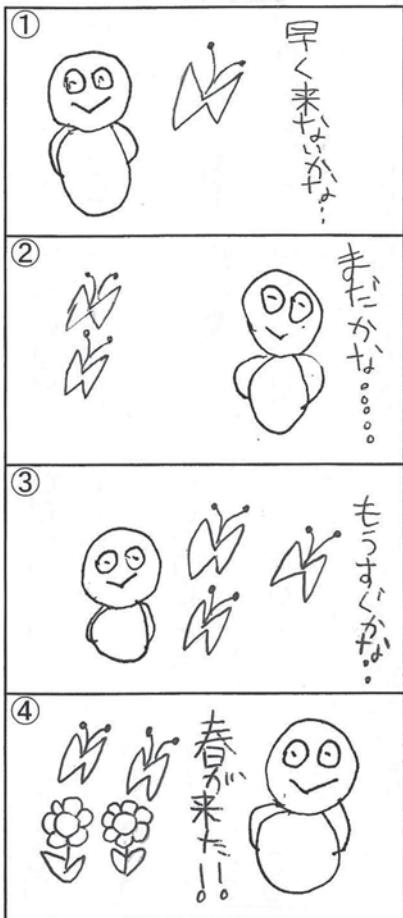


ボランティア募集

絶賛連載中!

竹の子日和

絵:H・Misumi
作:H・Miyagawa



ますよう、お願い致します。
【苦情受付担当】 小島 彰則

【苦情解決責任者】 坂井 正志

平成二十三年度 明星会苦情報告

社会福祉法人明星会では、苦情解決制度により苦情の受付・解決を行なっております。二十三年度は三件の苦情が上がりました。

【内容】 施設での言動・対応についての苦情が上がりました。

編集後記
平成二十四年度がスタートしました。今年はどんな一年になるのでしょうか。表紙のように利用者の方の笑顔が溢れる一年になるよう、各事業所一丸となり頑張っていきたいと思っています。今年も「竹の子だより」のご愛読をよろしくお願いします。(三橋)

竹の子ホーム世話人言動・支援について 一件
【苦情主】 利用者様三件
受付をした苦情に対し、調査確認し、解決・改善に努めてまいりました。今後とも忌憚ないご意見を頂けた。二件

し、解説・改善に努めてまいりました。今後とも忌憚ないご意見を頂けた。今後とも忌憚ないご意見を頂けた。今後とも忌憚ないご意見を頂けた。今後とも忌憚ないご意見を頂けた。

表紙のように利用者の方の笑顔が溢れる一年になるよう、各事業所一丸となり頑張っていきたいと思っています。今年も「竹の子だより」のご愛読をよろしくお願いします。(三橋)

今年も「竹の子だより」のご愛読をよろしくお願いします。(三橋)